

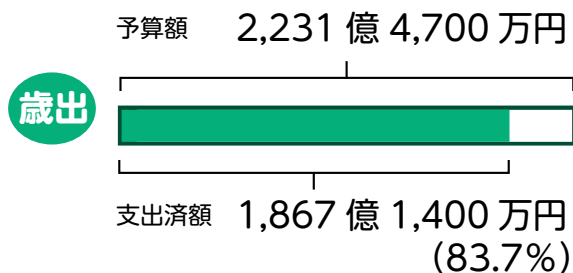
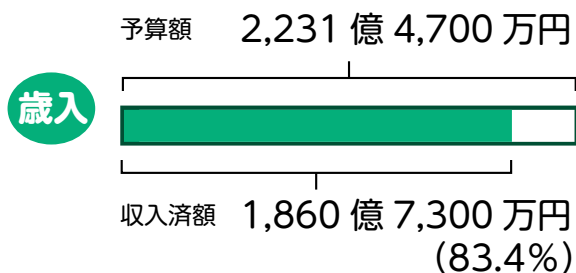
平成 29 年度の

# 長崎市の財政状況をお知らせします

【問い合わせ】 財政課 (☎ 829-1126)

## 一般会計

福祉サービス、道路や公園の建設、環境衛生など、市が行う仕事の中心となる部分の会計です。市税などが主な財源になっています。



区分	予算額	収入済額	収入率
市税	533 億 3,000 万円	537 億 1,300 万円	100.7%
国庫 <sup>※1</sup> 支出金	596 億 2,200 万円	547 億 5,600 万円	91.8%
地方 <sup>※2</sup> 交付税	353 億 8,500 万円	352 億 8,300 万円	99.7%
市債	310 億 2,800 万円	93 億 5,300 万円	30.1%
諸収入	51 億 5,400 万円	40 億 7,300 万円	79.0%
その他	386 億 2,700 万円	288 億 9,500 万円	74.8%

区分	予算額	支出済額	執行率
民生費 <sup>※3</sup>	1,041 億 6,900 万円	901 億 3,100 万円	86.5%
公債費 <sup>※4</sup>	288 億 7,000 万円	280 億 3,000 万円	97.1%
土木費	269 億 2,500 万円	171 億 9,600 万円	63.9%
総務費	192 億 4,400 万円	158 億 4,400 万円	82.3%
衛生費	136 億 7,700 万円	115 億 7,500 万円	84.6%
教育費	147 億 3,300 万円	113 億 600 万円	76.7%
その他	155 億 2,800 万円	126 億 3,300 万円	81.4%

- ※1 特定目的事業の財源として国が地方に交付する補助金など
- ※2 国が所得税、法人税など国税の一定割合を市の財政力などに応じて交付するもの

- ※3 原爆被爆者や子ども、高齢者、障害者福祉などの経費
- ※4 市債の返済などの経費

## ワンポイント解説

長崎市には3つの会計区分(一般会計・特別会計・企業会計)があり、4月1日～翌年3月31日を一区切りとして、収入・支出の処理をしています。

一般会計の歳出は、福祉関係などの経費である民生費の割合が大きくなってきています。

歳入は、市税の収入額が予算額を上回るなどから、最終的に一般会計の収支は黒字となることが見込まれます。



## 市債は、世代間で事業費を公平に負担するために発行しています

(市債の状況)

市債とは、学校や道路、下水道など長期間使うものの建設や、災害復旧工事などのための借金のことです。市債で事業をすることで、長く使うものを将来の住民にも負担してもらい、世代間で公平な負担ができます。

内訳は、右のとおりです。借りた市債は、一般会計では公債費で返済することになります。

区分	平成 29 年度末市債残高見込み
一般会計	2,491 億 4,400 万円
特別会計	220 億 7,900 万円
企業会計	941 億 8,500 万円
合計	3,654 億 800 万円

6月と12月の年2回、  
長崎市の財政状況をお知らせしているのじゃ!



財政ソフトウェア博士

今回お知らせするのは平成30年3月31日現在の金額です。一般会計と特別会計には5月31日まで現金の未収・未払いを整理する期間を設けているので、最終的な金額(決算額)ではありません。

## 特別会計

国民健康保険や介護保険事業、駐車場事業など特定の収入(保険料や使用料など)で、その事業の支出をまかなう会計です。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
1,240億 1,100万円	1,002億 4,600万円	80.8%	1,085億 9,600万円	87.6%

## 企業会計

その事業の収益(使用料など)で支出をまかない経営を行う独立採算制の会計です。

**収益的収入と支出** 企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

**資本的収入と支出** 企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出と、その財源となる収入

### 水道事業会計

区分	予算額	執行額	執行率
収益的	収入 120億 5,800万円	121億 4,100万円	100.7%
	支出 102億 2,600万円	96億 5,400万円	94.4%
資本的	収入 27億 800万円	24億 5,700万円	90.7%
	支出 94億 8,900万円	80億 6,800万円	85.0%

### 下水道事業会計

区分	予算額	執行額	執行率
収益的	収入 138億 1,300万円	136億 4,800万円	98.8%
	支出 121億 8,900万円	118億 8,100万円	97.5%
資本的	収入 103億 5,900万円	94億 5,900万円	91.3%
	支出 149億 8,200万円	137億 8,600万円	92.0%

## 市の財産

地域センターなどの土地、建物や公園の遊具などの財産があります。

種別	金額
土地	2,628億 9,800万円
建物	2,640億 500万円
工作物	769億 1,800万円
その他	229億 2,500万円
合計	6,267億 4,600万円

## 一時借入金の状況

一会計年度内において、収入と支出の一時的な不均衡を解消するために、支払資金の不足を補うための一時的な借入金です。

全会計の合計
40億 448万円(全会計の合計)

## 市民の税負担

平成30年3月31日現在の長崎市人口・世帯数で算出しています。

市民の税負担(予算額)	
125,750円/人	256,033円/世帯

適切な財政運営に  
努めていきます!

## 今後の財政運営について

長崎市の財政状況は、これまでの行財政改革の取り組みなどによって少しずつ改善しています。今後5年間の中期財政見通しでは、次の時代の長崎の基盤づくりにつながる大型事業の実施などにより、歳入・歳出ともに全体的に高い水準で推移していきませんが、財政収支は均衡できると見込んでいます。地方交付税の減少、公債費負担の増加に備え、基金残高を一定確保するなど、自主的な財政運営に努めながら、地方創生に係る施策など未来への投資を実施しつつ、人口減少克服や地域経済の活性化を図っていきます。

